

■ 食の新たな可能性の創出と消費拡大の促進

新たな戦略品目を含め、道産品の消費拡大チャレンジの展開など消費や販路拡大に取り組むとともに、食育や木育を推進します。

(政策展開の方向性)
米や小麦、乳製品など主力道産品の様々な消費拡大チャレンジを展開するなど消費の拡大に向けて取り組みます。また、落花生やにんにく、さつまいも、マイワシ、ニシン、ブリなどの新たな戦略品目の消費や販路の拡大に取り組みます。子どもの頃からふるさと北海道に親しむ心を育てる食育や木育を推進します。

区分	主な取組	備考 (施策Code)
野生動物等の適正な管理	○エゾシカ出前講座等の開催、イベント出展等による利用機会拡大の取組を実施【エゾシカ肉処理施設の認証施設数 R2:15件、R3:16件、R4:17件、R5(8.1時点):18件】	0302
安全・安心な食品づくりと愛食運動の推進	○道産食品独自認証制度の普及拡大の取組を実施(認証品数(R5.1) 37商品) ○ポスターコンテスト(R4実施)の入賞作品を雪印メグミルクの商品パッケージに印刷・販売し、地産地消に対する道民の意識を醸成(R5.7~)	0603
高付加価値農業の推進	○北海道6次産業化サポートセンターを開設(4/14)し、各種相談に対応【R4 窓口相談対応:132件、専門家による現地指導:36回】 ○輸出先国の需要等を踏まえたフェアや商談会を実施、PRを強化し、海外の消費者等における道産農産物等への関心を喚起【R3:10回→R4:5回】 ○北海道クリーン農業推進協議会が実施する出前講座やイベントの支援により、クリーン農業への関心を喚起【北海道大谷室蘭高等学校における「出前授業」(R4.7)、クリーン農業・地産地消PR展(R4.10)】	0605
農業生産の振興	○北海道米食率向上戦略会議において北海道米プロモーションを実施【R4米穀年度の道内食率は90%(11年連続で目標85%以上維持)】 ○首都圏でのプロモーション活動など、てん菜糖の消費拡大を図るための取組を実施するとともに、小麦や大豆の生産性向上を図る取組を推進 ○優良品種の認定、種子計画の策定、原種ほ及び原原種ほの設置等を実施 ○菓子用として新たな需要拡大が期待される秋まき小麦を題材に、製菓学校の学生に学ぶ機会を提供し、道産小麦に対する理解を促進(R5.7) ○北海道自給飼料生産優良事例発表会等の開催や市町村自営防疫組合等への指導、家畜衛生に係る検討会等開催のほか、北海道和牛の競争力強化とブランドの確立に向け、和牛改良組合等が行うトップエリート牛群づくりの取組を支援	0606
森林吸収源対策の推進	○企業等と森林所有者のマッチングや、木育マイスター等と連携した木育活動を実施【企業等と木育マイスターが連携した木育活動 R2:81件、R3:84件、R4:78件】	0703
森林資源の循環利用の推進による林業及び木材産業等の振興		0709

(続き)

区分	主な取組	備考 (施策Code)
道産水産物の国際競争力の強化	○貝毒や放射性物質のモニタリングの継続及びその結果の公表による安全性のPRを実施し、道産水産物の安全・安心を周知 ○輸出証明書の即日発行による輸出伸長のサポートを実施【R2:1,938件、R3:2,833件、R4:2,271件】 ○衛生管理の高度化による輸出促進に向け、水産加工場のHACCP認定取得施設数(対米、EU)の増加をサポート【R2:106、R3:111、R4:121】 ○道産水産物フェアの開催、ネット販促を実施し、輸出品目・輸出先国の拡大を促進するとともに、今後の展開に向けた課題を整理【R4:フェア開催(中国、米国等)、ネット販促(香港、豪州等)】 ○海外における商流構築に向け、高付加価値製品のPRを実施【R4:商談会開催(中国、香港)】	0712
体力・運動能力の向上や健康教育の充実	○「食育推進研究協議会」を開催【R4:125名→R5.12実施予定】(養護教諭及び栄養教諭等を対象とした健康教育推進研究協議会として道内3箇所で開催し、実践研究の成果の普及及び養護教諭と栄養教諭が連携して食育を推進する体制を整備(R5)) ○「北海道学校給食コンクール」を開催【R4:32名→R5実施予定】	1106

※主な取組については、令和5年度基本評価・事務事業評価調書(「○～」)、道ホームページ(「◇～」)より引用・作成